

入 札 書

¥ 税別 (B グループ)

(内 訳)

品 名	規 格	単位	数量	単 価	金 額	備 考
燃料タンク整備清掃役務	仕様書のとおり	ST	1			
	以下余白					
合 計						
納 入 場 所				納 期		
陸上自衛隊秋田駐屯地				令和8年10月30日		

上記公告又は通知に対して「入札及び契約心得」及び「標準契約書等」の契約条項等を承諾のうえ入札いたします。

また、当社は「入札及び契約心得」に示された暴力団排除に関する誓約事項について誓約いたします。

令和 年 月 日

分任契約担当官 陸上自衛隊秋田駐屯地
第383会計隊長 佐藤 正和 殿

住所

会社名

代表者名

印

仕 様 書

仕 様 書 番 号	2 8
仕 様 書 作 成 年 月 日	令和 8 年 5 月 1 8 日
調 達 要 求 番 号	6 N N B 1 A X 0 0 2 9
担 当 部 隊	秋田駐屯地業務隊管理科営繕班
担 当 者	桑原 健司朗
品 名	燃料タンク整備清掃役務
数 量 (単 位)	1 式

1 適用範囲

本仕様書は、陸上自衛隊秋田駐屯地で実施する「燃料タンク整備清掃役務」について適用する。

2 役務場所

秋田県秋田市寺内字将軍野 1 陸上自衛隊秋田駐屯地 (別図による)

3 役務概要

点検整備清掃及び開放検査（非破壊検査等）実施する。

ボイラー室：炉筒煙管ボイラー用重油タンク 1 基

4 一般事項

- (1) 仕様書に記載なき事項及び疑義を生じた場合は、監督官と協議し指示に従うものとする。
- (2) 内容の軽微な変更については、請負金額の増額を行わないものとする。
- (3) 施工中の災害予防については十分留意するものとし、万一事故等発生の場合は速やかに係官に報告する。事故補償は全て請負者の負担とする。
- (4) 本役務に伴い、他の施設及び物品等に破損又は汚損を与えた場合は、監督官の指示に従い、請負者の負担において、速やかに復旧するものとする。
- (5) 請負者は契約締結後、速やかに着手届及び工程表を作成し、監督官の承認を受けた後、作業するものとする。
- (6) 請負者は役務期間中、所定の様式による日報を監督官へ提出するものとする。
- (7) 実施場所及び監督官より許可された場所以外への立ち入りは禁止する。
- (8) 作業が 17 時以降に及ぶ場合は、当日 12 時までに監督官の承認を受けた後で作業を行う。
また、休日及び祝日に作業を行う場合は、前日 12 時までに監督官の承認を受け作業を行うものとする。
- (9) 請負業者は、着手前・中・完了後及び監督官の指示する箇所を撮影し、完了後速やかに A4 版の写真帳に整理のうえ提出する。

- (10) 作業完了の際は、所定の様式による完了届を1部提出し、監査官の検査を受ける。不合格の場合には、速やかに不備がある箇所の手直しを行い、再検査を受けるものとする。

5 規格

- (1) ボイラー室：炉筒煙管ボイラー2号重油タンク 1基

	項 目	規 格 等
1	型 式	地上式油タンク
2	寸 法	内径φ5,400×H5,300
3	内容積	120kℓ
4	申請容量	110kℓ
5	油 種	A重油（第4種第3石油類）
6	材 質	SS400（屋根板・床・側板）
7	最高液面高	4.817m
8	空間容積	11.073kℓ
9	控除容積	0.309kℓ
10	デッドストック	7.157kℓ
11	出荷ノズル高	0.326m
12	ノズル内径	0.114m

6 特記事項

- (1) 本役務は危険物の取扱いに関する政令による「屋外タンク貯蔵所」としての許可を受け規制の対象となる地区での作業であり、以下の規制を遵守し、特に引火爆発については万全の策を講じ、事故等を起こさず実施する。
- ア 消防関係法規（消防法第13条、危険物の規制に関する政令31条 他関係事項）
- イ 労働安全衛生法規
- ウ その他関係法規（地方自治体制定規則等）
- (2) 本役務の主任技術者は、甲種又は乙種危険物取扱主任者の資格を有している者で、燃料タンク等の清掃に関して、十分な経験と知識を持つものとする。
- (3) タンクの清掃にあたり、消防署等への諸手続きは、請負者側で実施する。また、消防署等が立会いを求める場合は、請負者及び担当官にて立会いを実施する。
- (4) 本役務に使用する照明器具、電気関連機材は全て防爆型のものとし、電気工作物規定に準拠し安全なものとする。
- (5) 作業衣はタンク清掃用のものを使用し、作業が衛生的に行われるように留意する。
- (6) タンク内外部のガス検知を、作業前及び作業中に随時実施する。またタンク内部にて作業を実施する場合は、必ずタンク外に監視員を配置する。
- (7) ガス中毒及び酸欠防止のため、送風機を使用し、安全に配慮して作業を行う。
- (8) 整備清掃作業は、令和8年10月20日までに全作業及び工程検査まで完了させるものとする。

7 作業内容

- (1) タンク上部蓋を開放する
- (2) 残油を一時移送後、内部のガスの抜き取りを実施する。
- (3) スラッジ、変油等を除去する。
- (4) タンク内部を清掃し、汚れ・錆等を除去する。
- (5) 点検、検査を行う
- (6) ウェス等によりタンク内部を拭き取る。
- (7) パッキン、ボルトナット等の交換を実施する。
- (8) A重油による共拭きを実施する。
- (9) 貯油可能状態に復元し、重油の移送を行う。

8 作業詳細

- (1) 炉管煙管ボイラー2号重油タンクの残油は1号タンクへ移送する。この際の移送量は最大7.0kℓを最大予定数量とする。また、残油内のスラッジ、変質油を確実に処分する。全ての移送作業は、安全に十分配慮して行うものとする。
- (2) 内壁全般及び支柱等の錆を念入りに落とし、その後洗浄を実施する。
- (3) 洗浄後、ウェス等により拭き取りを実施し、完全に乾燥させた後A重油にて共拭きを行う。
- (4) スラッジ、変質油は鋼製密閉容器等に回収し、請負者において産業廃棄物として処分する。
この際、使用する容器は請負者にて用意する。処分後、マニフェストを監督官に工期内に提出する。
- (5) タンクの洗浄に使用した洗浄水は、完全に吸引し、請負者で処分する。
- (6) タンク外部の塗装剥離部はシルバーペイントを使用し、塗装(2回塗)を行う。この際、仕上がりが自然になるように留意する。
- (7) タンクの開放により、パイプ・マンホール等のフランジを外した場合はガスケット及びボルトナットを新品と交換し、貯油可能な状態へ復旧する。なお、ボルトナットはSUS製とする。交換部品は事項の表による。
- (8) 点検は別紙点検表に基づき実施する。
- (9) 開放検査を実施する。
 - ア 目視によりタンク本体の損傷、腐食等の有無を検査する。
 - イ タンク床板及び側板の厚みを検査する。検査法は、定点測定法又は連続板厚測定法のどちらか一方、あるいは両方が基準値を満たしていることを確認する。
- (10) 点検、検査により不具合を発見した場合、請負者は監督官に報告の上、本役務にて対応可能なものについては整備を行う。対応不可能なものについては修理見積を提出すること。
- (11) 全作業終了後に監督官の指示に従い重油の移送を行う。

- (12) 本役務は、次に示す工程ごとに監督官の立会いを受け、工程検査に合格しなければ、次の工程に進むことはできない。

- ア 残油移送後
- イ 洗浄完了後
- ウ タンク内部の拭取り及び点検後
- エ 貯油可能状態復元後
- オ 全作業完了後

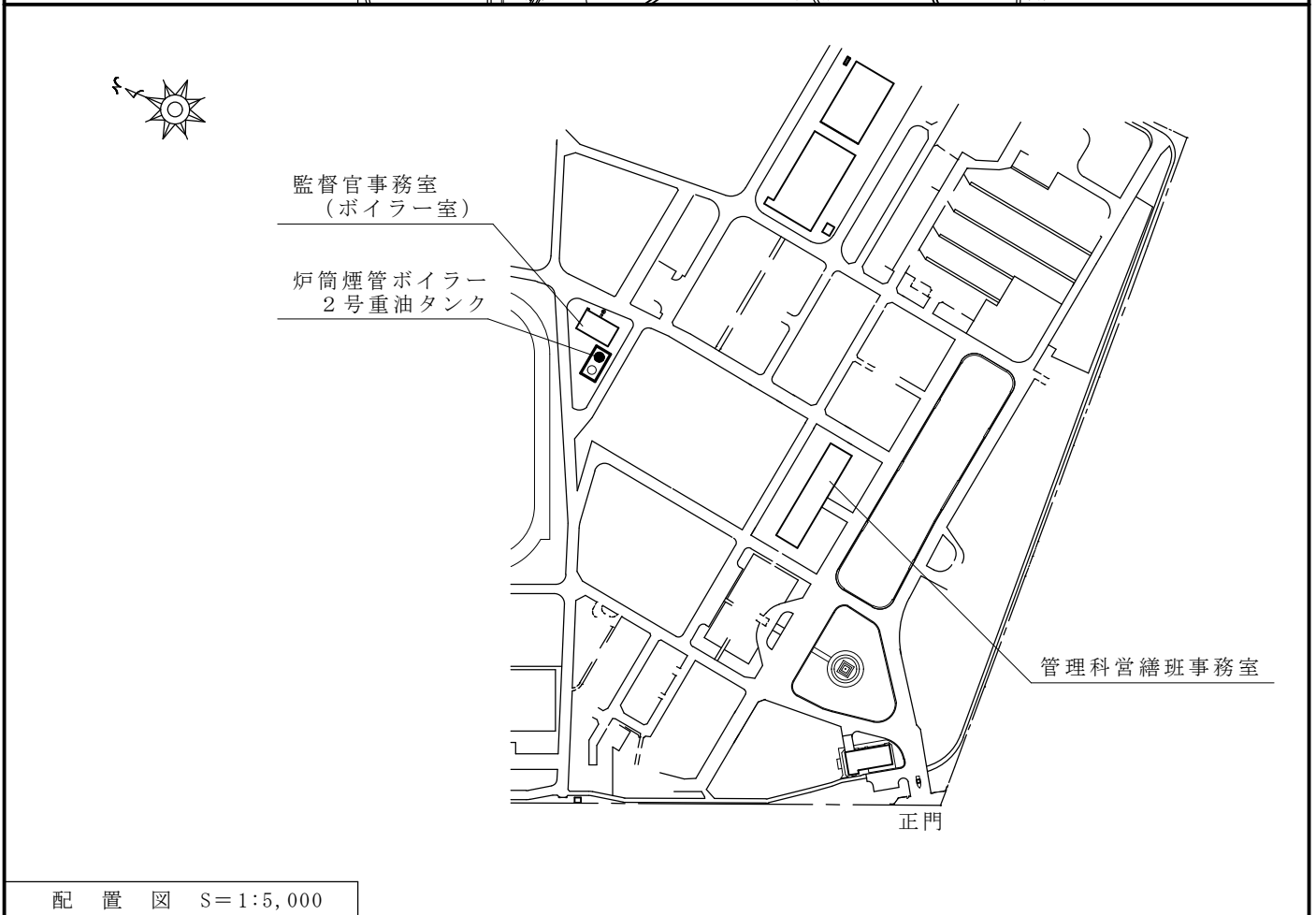
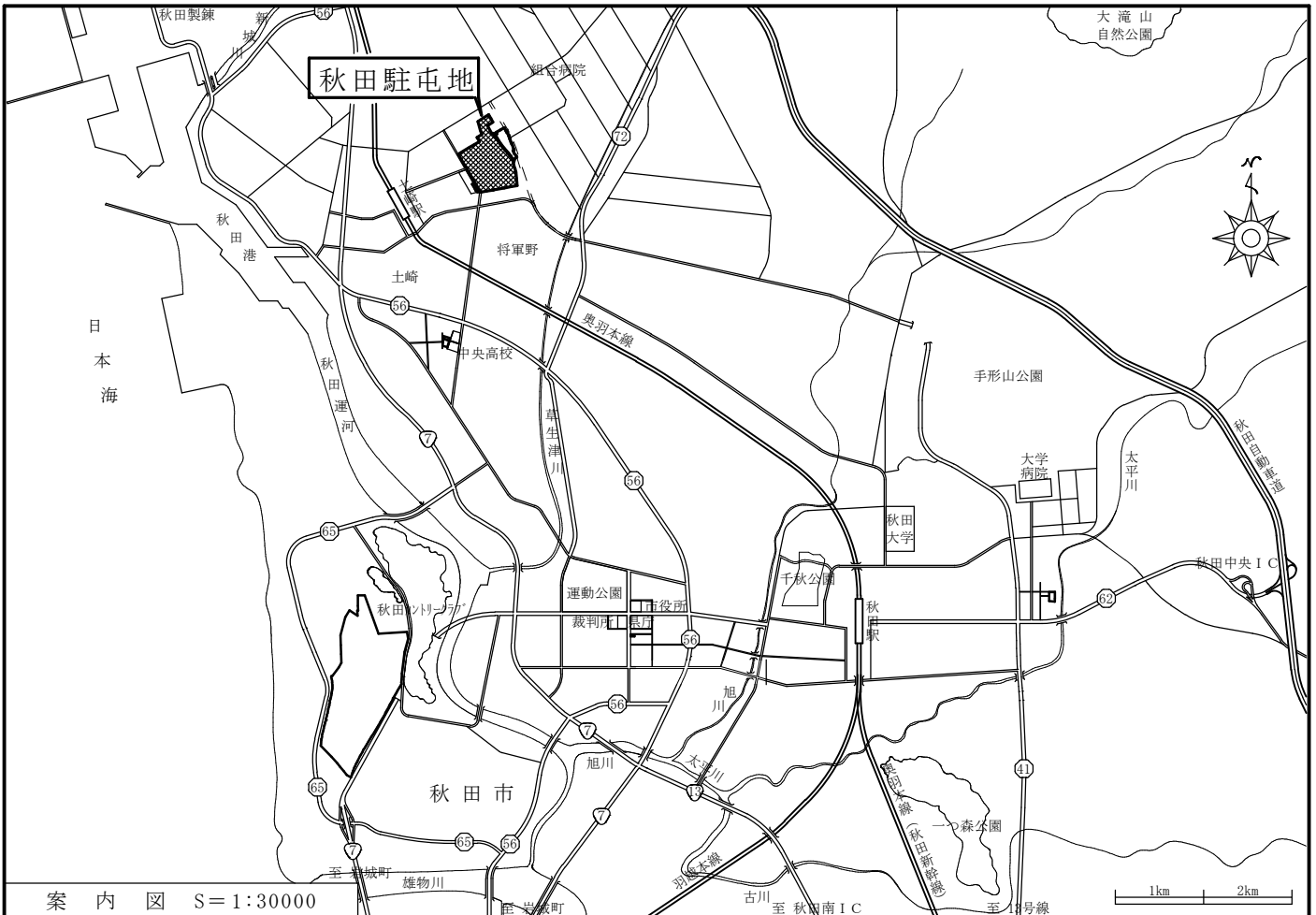
9 交換部品

- (1) ボイラー室：炉筒煙管ボイラー 2 号重油タンク 1 基

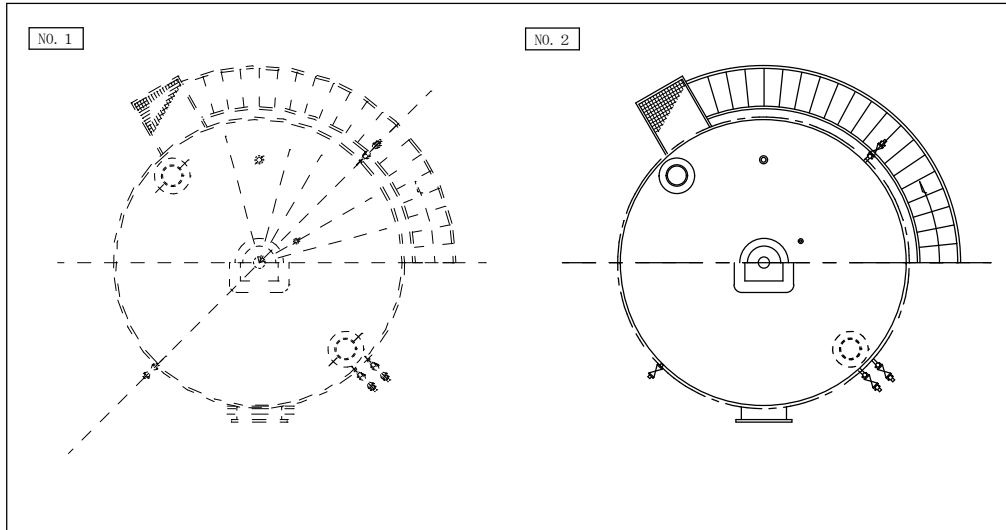
	箇所	ガスケット 規格	数量	ボルトナット	数量	備考
1	受入ノズル	65A JJIS10K 3 t	7 枚	M16×L60	28 組	
2		25A JJIS10K 3 t	7 枚	M16×L45	28 組	
3	払出ノズル	65A JJIS10K 3 t	7 枚	M16×L60	28 組	
4		20A JJIS10K 3 t	5 枚	M16×L45	20 組	
5	ドレンノズル	65A JJIS10K 3 t	4 枚	M16×L60	16 組	
6	返油ノズル	65A JJIS10K 3 t	4 枚	M16×L60	16 組	
7		20A JJIS10K 3 t	5 枚	M16×L45	20 組	
8	側マンホール	3 t × φ 832	1 枚	M16×L45	28 組	
9	屋根マンホール	3 t × φ 660	1 枚	M16×L30	16 組	
10	通気ノズル	100A JJIS10K 3 t	1 枚	M16×L25	6 組	
11		ハードスクリーン SUS304 #40	1 枚	蝶ボルトナット M10×L30	4 組	SUS フランジ 製作品含む
12	ゲージハッチノズル	150A JJIS10K 3 t	1 枚	M20×L70	8 組	
13	非常用通期口	3 t × φ 660	1 枚	M16×L45	16 組	

10 提出書類

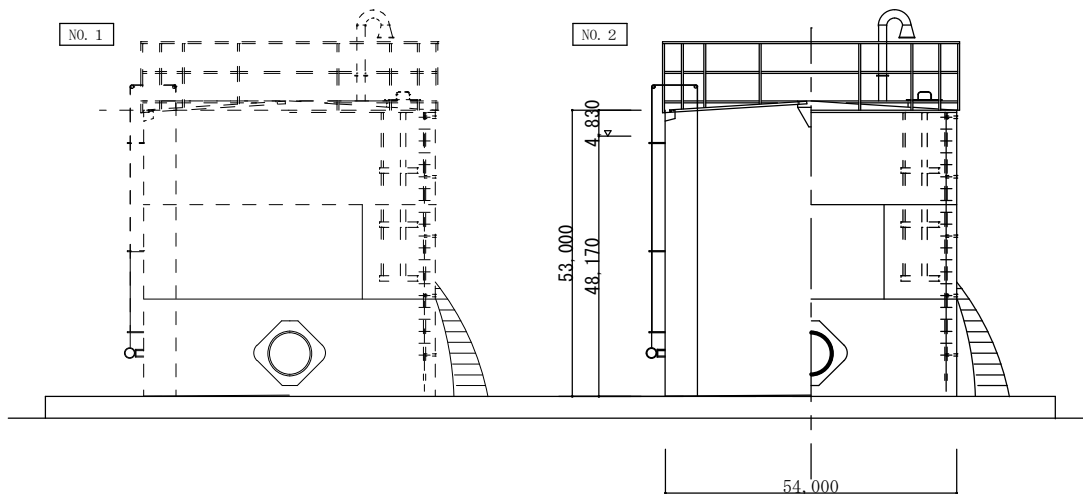
- (1) 着手届
- (2) 工程表（予定及び実施）
- (3) 役務打合せ簿
- (4) 作業日報
- (5) 材料検査願
- (6) 出荷証明書
- (7) 完了届
- (8) 作業状況写真（作業前、中、後）
- (9) 検査報告書
- (10) 産業廃棄物管理票（マニフェスト）
- (11) 消防提出書類等（写）
- (12) その他官側が要求する書類



ボイラー重油タンク



平面図 1 : 200



立面図 1 : 200

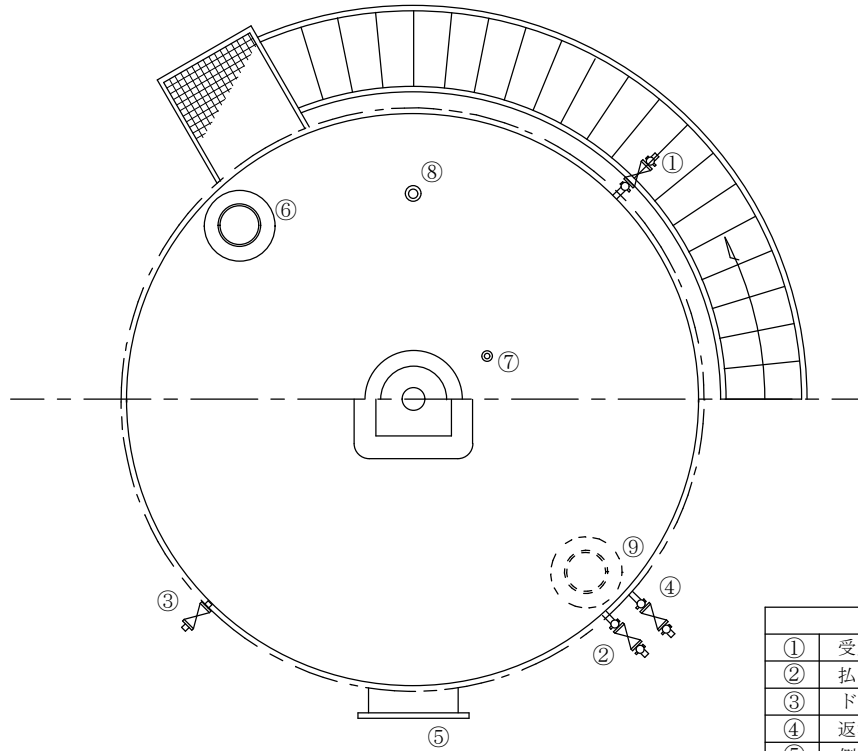
ボイラー室 2号重油タンク 仕様

容 量：有効容量 110KL
 型 式：屋外支持型円錐屋根タンク
 寸 法：φ5,400×H5,300
 内容物：A重油

主要材質

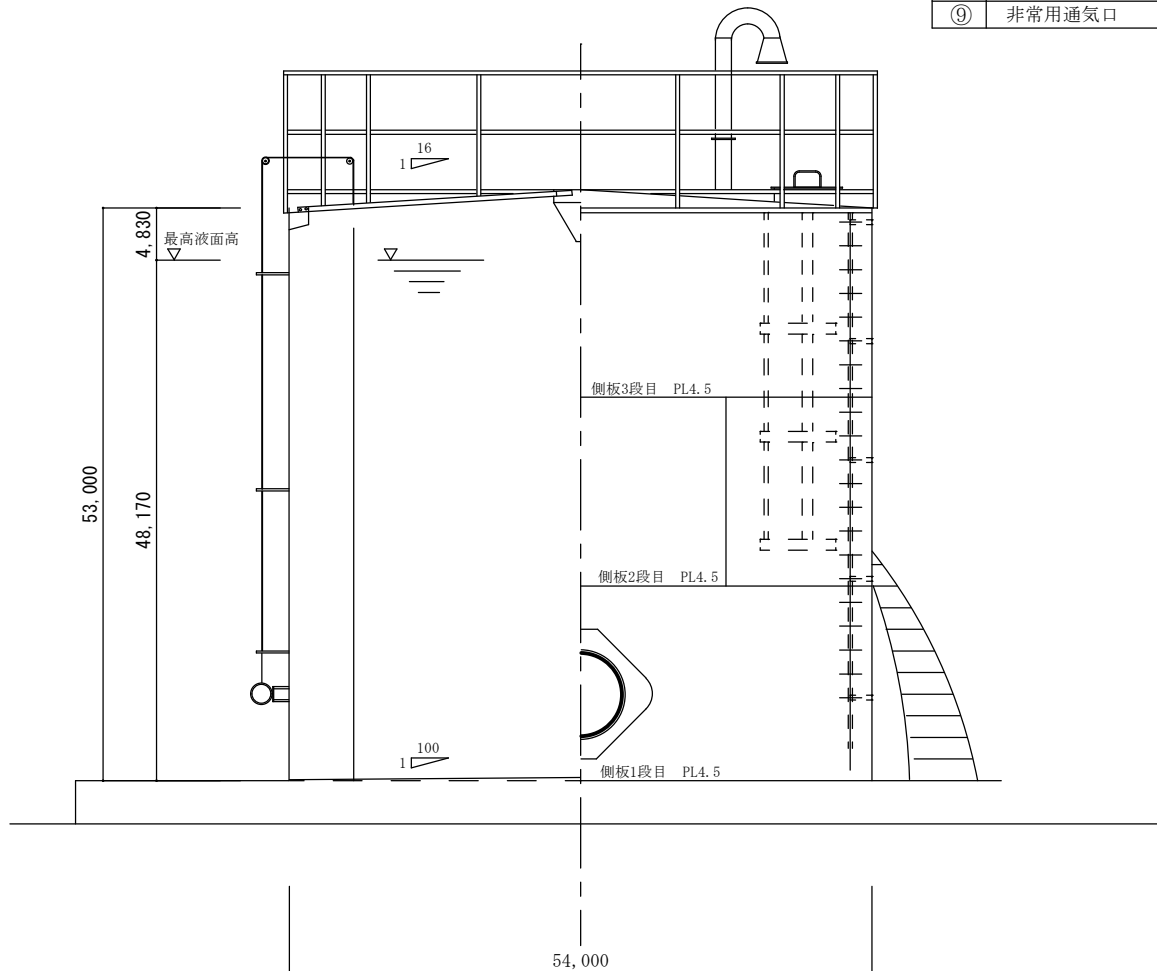
側 板	SS400
床 板	SS400
屋根板及び屋根骨	SS400
側ノズルネック	STPG370
マンホールネック	SS400
補強板	SS400
フランジ	SS400
ボルト・ナット	SUS
ガスケット	ノンアスベスト
配 管	STPG370、SGP

ボイラー重油タンク (2号)



平面図 1 : 100

凡例		
①	受入ノズル	65A
②	払出ノズル	65A
③	ドレンノズル	65A
④	返油ノズル	65A
⑤	側マンホール	φ 832
⑥	屋根マンホール	φ 660
⑦	通気ノズル	100A
⑧	ゲージハッチノズル	150A
⑨	非常用通気口	φ 660



立面図 1 : 100

市場価格調査依頼(市場価格回答書)

令和8年6月11日

業 者 各 位

分任契約担当官
陸上自衛隊秋田駐屯地
第383会計隊長 佐藤 正和

下記により市価調査をお願いします。

記

1 市価調査項目

名 称	規 格	単位	数量	単価	金額	備 考
燃料タンク整備清掃役務	仕様書のとおり	ST	1			
	(内 訳)					
【直接物品費】						
受入ノズル	仕様書のとおり	ST	1			
払出ノズル	仕様書のとおり	ST	1			
ドレンノズル	仕様書のとおり	ST	1			
返油ノズル	仕様書のとおり	ST	1			
側マンホール	仕様書のとおり	ST	1			
屋根マンホール	仕様書のとおり	ST	1			
通気ノズル	仕様書のとおり	ST	1			
ゲージハッチノズル	仕様書のとおり	ST	1			
非常用通期口	仕様書のとおり	ST	1			
その他物品費	仕様書のとおり	ST	1			
物品費小計						
【直接人件費】						
燃料タンク整備清掃	仕様書のとおり	ST	1			
その他人件費	仕様書のとおり	ST	1			
人件費小計	仕様書のとおり	ST	1			
諸経費	一般管理費等	ST	1			
合計		ST	1			

- (1) 上記金額には、消費税を含めないで下さい。(税抜価格)
- (2) 諸経費等を含めた金額で、お見積をお願いします。
- 2 回 答 期 限 令和8年6月24日(水)10:00までをお願いします(FAX)
- 電話 0 1 8 - 8 4 5 - 0 1 2 5 (内線347)
- FAX 0 1 8 - 8 4 5 - 0 2 9 4 (内線349) 担当：福 田

市 場 価 格 調 査 回 答 書

令和 年 月 日

分任契約担当官 殿

上記のとおり回答する。

住所
会社名
代表者名
担当者名
連絡先